

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分  
 【発行日】平成 20 年 9 月 11 日 (2008.9.11)

【公表番号】特表 2008-508446 (P2008-508446A)  
 【公表日】平成 20 年 3 月 21 日 (2008.3.21)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-011  
 【出願番号】特願 2007-524257 (P2007-524257)  
 【国際特許分類】

**D 0 7 B 1/06 (2006.01)**

**B 6 0 C 9/00 (2006.01)**

**B 6 0 C 9/20 (2006.01)**

【F I】

D 0 7 B 1/06 A

B 6 0 C 9/00 L

B 6 0 C 9/20 E

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 7 月 23 日 (2008.7.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 + N 構造の 2 つの層 (C 1 , C 2 ) を有し、ゴム引きされ、直径  $d_1$  の単一コアワイヤから成るコア又は内側層 (C 1 ) 及び前記内側層 (C 1 ) にピッチ  $P_2$  で螺旋をなして一緒に巻き付けられた直径  $d_2$  の N 本のワイヤの飽和外側層 (C 2 ) を有するコンパクトな金属ケーブルにおいて、前記層状ケーブルは、

以下の特徴 ( $d_1$ 、 $d_2$ 、 $P_2$  の単位は、mm)、即ち、

-  $0.15 < d_1 < 0.50$

-  $0.15 < d_2 < 0.50$

-  $8 < P_2 < 25$

を有し、前記コアワイヤは、ジエン系ゴムのシースで包囲され、前記ジエン系ゴムは、前記コアワイヤと前記外側層 C 2 の前記ワイヤとの間の隙間を少なくとも部分的に埋めている、ケーブル。

【請求項 2】

前記ゴムシースのジエンエラストマーは、ポリブタジエン、天然ゴム、合成ポリイソブレン、ブタジエンコポリマー、イソプレンコポリマー及びこれらエラストマーの混合物から成る群から選択される、請求項 1 記載のケーブル。

【請求項 3】

前記ジエンエラストマーは、天然ゴムである、請求項 2 記載のケーブル。

【請求項 4】

前記ゴムシースは、補強充填材としてカーボンブラックを含む、請求項 1 ~ 3 のうちいずれかに記載のケーブル。

【請求項 5】

前記ゴムシースは、架橋状態では、10% 伸び率における割線引張モジュラス  $E_{10}$  が、5 ~ 25 MPa である、請求項 1 ~ 4 のうちいずれかに記載のケーブル。

【請求項 6】

以下の特徴 ( $d_1$  及び  $d_2$  の単位は、mm)、即ち、

- $0.15 < d_1 < 0.50$
- $0.25 < d_2 < 0.40$
- $0.6 < (d_1 / d_2) < 1.25$

を有する、請求項 1 ~ 5 のうちいずれか一に記載のケーブル。

【請求項 7】

以下の特徴 ( $d_1$  及び  $d_2$  の単位は、mm)、即ち、

- $0.20 < d_1 < 0.48$
- $0.25 < d_2 < 0.40$
- $0.8 < (d_1 / d_2) < 1.2$

を有する、請求項 6 記載のケーブル。

【請求項 8】

$p_2$  は、10 ~ 20 mm である、請求項 1 ~ 7 のうちいずれか一に記載のケーブル。

【請求項 9】

$p_2$  は、14 ~ 18 mm の範囲内にある、請求項 1 ~ 7 記載のケーブル。

【請求項 10】

前記層 C 2 は、6 本又は 7 本のワイヤから成る、請求項 1 ~ 9 記載のケーブル。

【請求項 11】

前記コアワイヤを包囲している前記ゴムシースは、0.01 mm ~ 0.10 mm の最小厚さを有する、請求項 1 ~ 10 のうちいずれか一に記載のケーブル。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 11 のうちいずれか一に記載のケーブルで補強されたタイヤ。

【請求項 13】

2 つのビード内に繋留され、ベルトにより半径方向に包囲されたカーカス補強材を有し、前記ベルトが、2 つのサイドウォールにより前記ビードに接合されたトレッドによって包囲されている請求項 26 記載のタイヤであって、前記ベルトは、請求項 1 ~ 12 のうちいずれか一に記載の金属ケーブルを有する、タイヤ。